県民要求実現めざして奮闘！

当選後、盛岡で街頭から挨拶する県議団

9月に行われた岩手県議会議員選挙で、日本共産党はトップ当選した千田美津子議員を含め、盛岡区の斉藤信県議、一関区の高田一郎県議とともに、3議席を獲得し、大躍進することが出来ました。県政史上初の3議席を力に震災復興前進、県民のくらしと福祉を守り、公約実現のため全力をあげる決意です。

千田美津子議員が県議会で初の一般質問！

10月2日から11月2日までの日程で開会された9月議会において、千田美津子議員が10月15日一般質問に登壇し、子どもの医療費支援の拡大、胆沢病院の小児科・産婦人科の充実、コメ問題への対応等選挙で掲げた公約など、7項目にわたり、達増知事の見解を質しました。

当選後、達増知事と懇談

子どもの医療費支援の拡大、胆沢病院の産婦人科・小児科の充実を

この日、午後2時半過ぎから質問にたった千田美津子議員は、まず、「戦争法と日本共産党が提起した国民連合政府」について、達増知事の考えを質しました。

戦争法は「廃止するのが適当」…知事

千田議員は、「戦争法は違憲立法であり、日本の平和と国民の命を危険にさらすもの。直ちに廃止すべきだ」とし、戦争法と国民連合政府実現のよびかけについて知事の見解を質しました。これに対し、達増知事は、戦争法（安保関連法）について「私も廃止するのが適当と考える」と述べました。

国民連合政府構想について「民意を尊重する姿勢を大いに評価する」…知事

そして知事は、「国民連合政府構想は安保関連法に反対する、あるいは疑念を持つ国民の民意を形にしようとするものであり、民意を尊重する姿勢を大いに評価する」と述べるとともに、「国家、国民の大事に関わることであり、各政党や政治家が真剣に議論し、民意が反映される政治を実現していただきたい」と述べました。

子どもの医療費助成は、小学校卒業は勿論のこと中学校卒業まで拡充を

千田議員は、子どもの医療費助成の現状と課題について取り上げました。来年8月から実施される未就学児及び妊産婦の医療費窓口負担をなくす現物給付化を評価した上で、「小学校卒業は勿論、中学校卒業まで拡充すべき。」と指摘しました。また、県内市町村で小・中学、高校と無料化が進んでいる現状を踏まえて、「県としてもまずは早急に小学校卒業までの無料化を進めるべき」と迫りました。

「8月から助成対象を小学校卒業の入院まで拡大した」…知事

達増知事は、「本年8月から小学校卒業の入院まで助成対象を拡大した」ことを明かし、「医療費助成は全国どこの地域においても同等な水準で行われるべきであり、全国一律の制度の創設と地方単独の助成に対する国庫負担金の減額の廃止を国に要望したところだ」と述べ、今後も国に対し、積極的に働きかけていくと述べるに止まりました。

産科・小児科の医師不足で地元で出産ができなくなる子どもの入院も不安に…

千田議員は、奥州・金ヶ崎地区のとりわけ産科・小児科の医師不足の実態を取り上げました。「水沢区内の産婦人科開業医が急きょ産科をやめ、里帰り出産は勿論、地元で出産できなくなるとの不安が広がっている」ことや「小児科入院の大半を担う市立病院常勤医師の高齢化等により、いつ入院できなくなるかわからない状況である」との実態を述べ、胆沢病院の産科・小児科の充実が急務であると訴えました。

「県南地域の地域周産期母子医療体制の推進を図る」…知事

達増知事は、胆江地区における産科・小児科ともに、人口当たりの医師数が県平均を下回ることを認め、「即戦力の医師の招へいや、奨学金制度による医師の育成に取り組み、医師確保に努めている」「県内を4つの地域に分け、県南地域の周産期母子医療体制の推進を図る中で、胆沢病院の診療体制の充実を進める」と述べました。

産科の復活・小児科の充実が期待される胆沢病院

TPP協定書作成の撤退・調印中止を！抜本的な下落対策として国が需給安定責任を

千田議員は、「大筋合意したTPPは、農産物主要5品目を守るとした国会決議を破り、地域経済に計り知れない重大な影響を与えるものであり、協定書作成から撤退すべき」「抜本的な米価下落対策として国が需給安定責任を果たすよう求めるべきでは」と指摘。達増知事は、「協定の内容や国による必要な対策が示され、国会を中心に十分な国民的議論に付されるよう政府に求めたい」と述べました。

県民のいのちとくらしを守ります
2015 年 11月 NO. 1
日本共産党
千田美津子
県政報告

発行：日本共産党岩手県議団事務局
岩手県議会・日本共産党議員控室　TEL019-629-6050
〒020-0023 盛岡市内丸１０－１
千田美津子県議連絡所（日本共産党奥州市委員会）TEL0197-24-2021
〒023-0056 奥州市水沢区字久田６２

Wondershare PDFelement